

平成 18 年 1 月 5 日

石川島播磨重工業株式会社

東洋エンジニアリング株式会社

インド初の LNG 受入基地の増設工事を受注

～年間 1000 万トンの受入基地を計画～

石川島播磨重工 (IHI) と東洋エンジニアリング (TEC) のコンソーシアムは、このたび、インドのペトロネット・LNG 社 (本社: ニューデリー) から同社のダヘッジ受入基地 (ターミナル) の増設・拡張工事を受注しました。工事内容は、同基地の 4 号目となる LNG タンク設備 (地上式タンク 14 万 8000kl) をはじめ LNG の気化送り出し設備や気化ガス処理設備など同基地の受け入れ能力を倍増するための基本設計から調達・土木・機器据付を含めた EPC 契約です。工事完成は 2008 年末の予定です。

本 LNG 受入基地は、インド初の LNG 受入基地であり、IHI が 2000 年に TEC、東洋エンジニアリングインディア (TEIL)、伊藤忠商事、三井物産とコンソーシアムを組み受注し、2004 年に完成し、現在、順調に稼動しています。今回も IHI がコンソーシアムのリーダーとして、同様のメンバーで入札に参加し受注しました。

本 LNG 受入基地は、インド最大および第 2 位の石油精製会社 (IOCL および BPCCL)、石油・ガス開発公社 (ONGC)、ガス販売担当公社 (GAIL) の国営企業 4 社が中心となって設立したペトロネット・LNG 社が、インド西海岸に位置するグジャラート州ダヘッジ (ボンベイから北へ約 300km) に建設・運営しているもので、現在、カタールのラスラファン LNG 社 (ラスガス) から年間 500 万トンの LNG を購入し、ダヘッジ受入基地からインドの国営発電会社である NTPC などに供給しています。

ペトロネット・LNG 社は、同受入基地の受け入れ能力を 2009 年までに現在の 2 倍の年間 1000 万トンに拡張する計画であり、先日 IHI が単独で受注した 3 号タンク (14 万 8000kl) と今回、コンソーシアムで受注した工事で計画を実現します。本受入基地の完成実績や IHI の国内外の豊富な LNG タンクの納入実績、TEC、TEIL の長年のインドにおける豊富な実績が評価され、今回の受注にいたりました。

インドでは、2011 年には天然ガス需要が年間 6000 万～7000 万トンに達すると予測されており、東西両岸で複数の LNG 受入基地の建設が計画されていることから、IHI と TEC は、今後とも協力して、インドでの LNG 受入基地および LNG タンクの営業活動を積極的に展開していきます。

以上

お問い合わせ先:

IHI 広報室 坂本 TEL: 03(3244)5344

TEC 広報室 佐藤 TEL: 047(454)1113